

介護老人保健施設

ろうけん桜並木がオープンしました！

ろうけん桜並木の開所によせて

社会医療法人財団松原愛育会 理事長 松原 三郎



あるいは、医療機関への入院ができるという安心感もとても大事な要素です。

私達は、私達が持っている機能の全てを投入し、新たな在宅介護を進めるといふ強い信念のもとで、関連医療機関の職員とも致協力して、ろうけん桜並木の運営に当たらなければならぬと思っております。

ろうけん桜並木は、緑に囲まれ、川の流れが心地よく聞こえます。このように自然環境に恵まれた環境で、高齢者の方々の介護ができることは私達にとっては、この上ない喜びです。関係各位の皆様におかれましては、今後ともよろしくご協力とご指導賜りますようお願い申し上げます。

善を図ります。さらにユニットケアを基本として行われる介護では日常生活機能とコミュニケーションの回復を目指します。そのためには、所内のリハビリテーションをADLの回復から日常生活機能全般の回復を目指すようにしています。

私達が目指す在宅介護・医療、それは、国が目指す「地域包括ケア」そのものの姿でありま。もう一度、私達は、高齢者ケアの原点に立ち戻って、「住み慣れた地域で、顔なじみの人達に囲まれて、健やかに老いていける社会を作る」という理念を再確認する必要があります。

在宅生活・介護を進めるといふ方向と平行して、ひとくくならいつでも再入所できる、

ろうけん桜並木開設に向けて、この一年半の間、私達は、新しい地域強化型の老健を目指して懸命に努力してまいりました。在宅復帰が円滑に進むように、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を導入、「通所リハビリテーション」や「ショートステイ」の活用等については、医療機関である松原病院とびつめ館と連携して、「訪問診療」や「訪問看護やヘルパーステーション」の利用を推し進める体制も整備してまいりました。

この老健の最も大きな特徴は、入所された方々に対して、「介護と医療が連携して回復を目指す」ことです。特に、医療面では松原病院の持つ診療や検査の機能を投入して、病態の改

施設長より一言



施設長 追分 久憲

国は住み慣れた地域で介護を完結できる体制の「地域包括ケア」を目指しています。この度金沢市田上地区に新設された「ろうけん桜並木」は、在宅復帰強化型老健施設であります。施設内には「でいけあ桜並木」、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事務所「ささえるねっと桜並木」も併設しています。このような種々の機能で介護を必要とする地域の人達のお役に立てればと考えていますので、今後の御支援をお願いする次第であります。

ろうけん桜並木の概要

当法人初の大型の介護保険施設である、介護老人保健施設「ろうけん桜並木」が7月1日に開設しました。

ろうけん桜並木はユニット型療養室100床、従来型多床室20床、合計120床の入所施設で、病院と在宅とをつなぐ中間施設として、在宅復帰を目指す老人保健施設です。入所される方は、施設サービス計画に基づいて、看護・医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の世話を受けながら、自宅、グループホームや高齢者住宅など、いわゆる「在宅」へ戻れるよう復帰を目指し、ショートステイとしての利用も可能となっています。入所対象者は要介護認定を受けた方で、ショートステイは要支援の方も利用が可能です。

また、ろうけん桜並木には通所リハビリテーション「でいけあ桜並木」、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所「ささえるねっと桜並木」が併設しており、在宅生活へ移行後も通いで、または在宅へ訪問することで、日常生活に万全の支援を行うことができます。

(「でいけあ桜並木」については次頁にて詳しく紹介します。)

「ささえるねっと桜並木」は昨年11月より先行して開設しており、介護計画に基づき24時間体制で何度でも訪問介護・訪問看護を利用できる、現在市内唯一の事業所です。

目次

vol.13
2014. 9月

特集

「ろうけん桜並木の開所によせて」

社会医療法人財団松原愛育会
理事長 松原 三郎

施設長より一言

ろうけん桜並木の概要 ...2-3

ろうけん利用の流れ ...4

でいけあ桜並木の概要

ささえるねっと桜並木
移転のお知らせ ...5

第23回 松原記念講演会開催

地域連携室NEWS ...6

すみれ台デイケア利用者様募集

専門外来のご紹介

feature KANAZAWA

診療体制変更のご案内 ...7

